年間授業計画　新様式例

高等学校 令和5年度（1・2学年用） 教科　　家庭　　科目 家庭総合

教　科：　家庭　　科　目：　家庭総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2　学年　　1 組～　　6 組

教科担当者：（１～６組：座喜味）

使用教科書：（ 高等学校　家庭総合　持続可能な未来をつくる　　）

教科　　家庭　　の目標：

【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　　家庭総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な科学的な知識と，それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 家庭科を学ぶ 【知識及び技能】 ・家庭科の授業と社会のつながりをSDGsを通して知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家庭科と社会がSDGsを通してどのようにつながっているか考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生活の中から課題を見出し授業で学んだことを活かす姿勢を身につける。	【指導事項】 ・家庭科の授業のルール ・SDGs 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・家庭科の授業内容を理解したか ・SDGsの内容を通して環境・社会の課題について考えることができるか。 【思考・判断・表現】 ・SDGsを通して、環境や社会について家庭科の授業との関連を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家庭総合で学ぶ内容について生活の中から課題を見出す姿勢がみられる。	○	○	○	2
	B これからの生き方と家族 【知識及び技能】 ・身近な他者や社会との関わりを通して一人一人が異なる過程をたどり，様々な生き方があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の目指すライフスタイルを実現するために，職業選択などの具体的な事例を取り上げたりして考察し，生活設計を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自立した生活を営むために，生涯を見通しながら，様々な生活課題に対応して適切に意思決定し，責任を持って行動することが重要であることへの理解を深める。	【指導事項】 ・生涯発達する自分 ・青年期を考える ・キャリアの形成 ・家族･家庭の働き ・結婚と変化する社会 ・家族に関する法律 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・一人一人が異なる過程を通り、様々な生き方があることを理解できたか。 【思考・判断・表現】 ・自分の目指すライフスタイルを実現するための生活設計を工夫することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・責任を持って行動することの重要さを理解し、責任ある言動をできているか。	○	○	○	12
	C 経済生活をつくる 【知識及び技能】 ・家庭の収入と支出を通して家計の構造を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・個人や家族の生活目標を実現するために、経済計画を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 正確な知識や情報を収集し、主体的に判断し行動する態度を身に着ける。	【指導事項】 ・私たちの暮らしと経済 ・消費者問題を考える ・持続可能な社会を目指して 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 家計の構造をりかいし、短期・長期の経済計画が必8用であることを理解できたか。 【思考・判断・表現】 生活目標を実現するための経済計画を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 正確な知識と情報を収集し、主体席に行動することができたか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

2学期	D 衣生活を作る 【知識及び技能】 ・アパレル産業と発展と私たちの衣生活が社会に結びついていることを理解する。 ・基本的なミシン操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・製作の手順を理解し、部分的にオリジナルを取り込むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・被服の手入れ方法などを理解し実生活に生かそうとする。	【指導事項】 ・人の一生と被服 ・被服材料と管理 ・これからの衣生活 ・被服の製作 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート ・エプロン	【知識・技能】 ・衣生活と社会の結びつきを理解することができたか。 【思考・判断・表現】 ポケットにオリジナルデザインを食わることで個性を表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・被服の手入れ方法を適切に選択し、実生活で取り入れようとしているか。	○	○	○	21
	E ともに生きる 【知識及び技能】 ・社会的制度・社会福祉の基本理念やともに支えあって生きる社会の考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ノーマライゼーションの理念を土台にして、具体的事例を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通して誰もが自分の力を活かし、他からの援助も得ながら安心して暮らせる社会を作り上げる。	【指導事項】 ・社会保障制度等 ・人の多様性と社会参加 ・共生社会 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・制度や社会福祉の基本理念、ともに支えある社会の考え方について理解できたか。 【思考・判断・表現】 ・ノーマライゼーションの理念を土台にした具体的な事例を正しく考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯、自分の力と他からの援助で安心して暮らせる社会と作り上げようとしている。	○	○	○	8
	F 充実した生涯へ 【知識及び技能】 ・高齢者の心身の特徴を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・長くなった人生を可能な限り充実させるために何が必要か考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を見通して高齢期をとらえることができる。	【指導事項】 ・超高齢社会 ・高齢期の生活 ・充実した高齢期に向けて 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・高齢期の心身の特徴とそれらには個人差があることを理解できたか。 【思考・判断・表現】 ・可能な限り充実した人生のための高齢期の過ごし方について考えることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を見通して自分の高齢期についてもとらえることができたか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	G 次世代をはぐくむ 【知識及び技能】 ・妊娠出産から乳幼児期の心身の特徴を理解する。 ・子どもの発達段階に合わせた大人の働きかけが重要であると理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの発達に応じた大人の働きかけについて判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の子どもを取り巻く社会環境の課題について理解できる。	【指導事項】 ・命のはじまり ・乳幼児の心身の発達 ・乳幼児の生活と遊び ・子育て支援 ・子どもの権利 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・妊婦・乳幼児の心身の特徴を理解できたか。 【思考・判断・表現】 ・子どもの発達に応じた適切な働きかけをすることが重要であると理解したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の子どもを取り巻く社会環境や、子どもの権利などの関連を考える姿勢がみられるか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1 合計 70